

兵庫県精神医療人権センター 2024年度 総会

記念講演

共催 特定非営利活動法人 権利擁護・神戸心の相談センター

これからの精神保健医療福祉を考える

—愛媛県愛南町での精神科病床閉鎖を伴う変革の実践を踏まえて—



講師

御荘診療所・所長

長野 敏宏

<プロフィール>

1970年生まれ。1994年、愛媛大学医学部を卒業後、同大学精神神経科入局。同年9月より御荘病院（現御荘診療所）非常勤。1997年同院に赴任、2003年同院院長。愛媛県南宇和郡（現愛南町）で、1970年代の精神障害者支援に端を発した地域活動に参画。2006年にはNPO法人ハートinハートなんぐん市場を様々な立場の仲間と設立、観光業、農林水産業などにも取り組み続け、多様な方々による地域づくりを試行錯誤している（王子動物園のコアラにユーカーを提供）。

2016年には149床あった精神科病床を閉鎖した。

7月6日(土) 神戸市立総合福祉センター第5会議室

◇総会…参加資格:会員(正会員・賛助会員)

※当日入会受け付けます。

12:30開場／13:00開会／14:00閉会

◇記念講演…どなたでも参加いただけます。

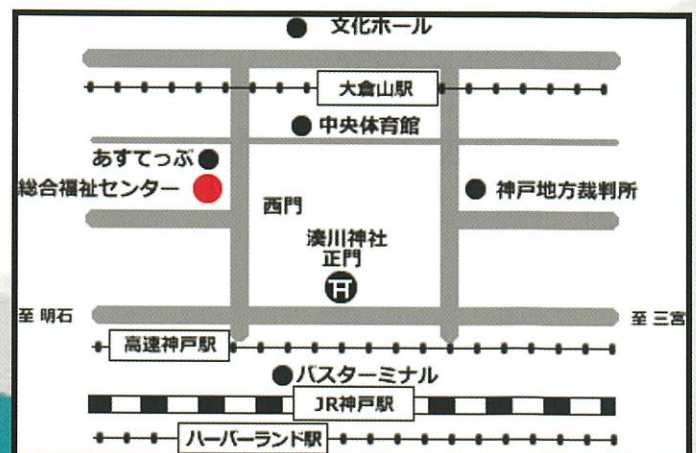
定員80名／要事前申込

参加費¥1,000 ※障害者・介助者各¥500

14:10開場／14:30開会／16:30閉会

◇各申込については裏面をご参照ください。

※JR神戸駅北／湊川神社西門前



【問合せ先】 兵庫県精神医療人権センター

〒653-0036 神戸市長田区腕塚町9丁目6-6 電話・Fax 078-612-0876 HP: <https://roohvogo.org>

兵庫県精神医療人権センター総会記念講演講演のご案内

戦前の精神科医・呉秀三が「我が国何十何万の精神病者はこの病を受けたるの不幸のほか、この国に生まれたるの不幸を重ねるものというべし」と述べたことは有名です。今も1年以上の長期入院者が17万人を超え、強制入院や身体拘束などの人権に抵触する制度が存在する日本は、精神医療ユーザーにとって幸せな国とは言えません。

しかし、「日本では精神医療の変革は無理」では決してありません。日本にも長年にわたり、精神医療の変革を実践してきた多くの人々や地域が存在します。長野敏宏医師も実践者のお一人であり、愛媛県愛南町で、精神病院を閉鎖し、精神障害者の就労と地域おこしを結びつける実践を推し進めています。

長野敏宏医師は「2016年に149床あった精神病院を閉鎖して以降、入院紹介は2～3か月に1人、認知症の方の入院は全くない。」と言います。また、長野さんと仲間の皆さんは、愛南町の1%を占める広大な土地で、様々な農作物を生産しています。東京の老舗果物専門店、銀座千疋屋にアボカドを卸しているほか、王子動物園のコアラのユーカリも長野さんらが提供しています。

今では、日本全国のみならず、海外からも視察に訪れ、イタリアでは「日本には愛南があるではないか」と言われていると聞きます。

そんなすごい実践がどうしてできるのか。私たちにも可能なのか。今年度の総会記念講演で長野さんと一緒に考えてみたいと思います。

精神医療の変革を願う皆さんはもちろん、地域おこしを求める皆さんをはじめ、多くの市民の皆さんのご参加をお待ちしています。

◇記念講演参加申込方法

記念講演への参加は事前申し込みが必要です。右上 QR コードから Peatix (クレジットカード決済等)にてお申込いただくか、下記「記念講演参加申込書」にご記入の上 Fax をお願いします (Fax でお申込の場合は参加費を会場にてお支払ください)。

peatix



◇兵庫県精神医療人権センター入会方法

入会をご希望の方は、右下 QR コードからホームページにある入会申込フォームにお進みください。

ホーム



◇会費振込先 名義人：兵庫県精神医療人権センター

☆郵便局より振り込みの場合 郵便振替口座／01170-1-15656

☆銀行より振り込みの場合 ゆうちょ銀行／店名：一一九 (仔仔キョ) 当座 番号：0015656

Fax 078-612-0876

◇記念講演参加申込書 会員 非会員 (どちらかに✓を入れてください)

| | | |
|-------------|----|--------------------------|
| ふりがな お名前 | | 参加人数 (ご本人と同行者を合わせて) 人 |
| 連絡先 | 電話 | E-mail |